

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	今年度、入退所の方が4名となり、権利擁護に関する制度の説明が十分でない。	御家族へは、契約時の制度の説明だけでなく、定期的に家族会にて制度の説明を行い、理解をして頂く。	10月前後に家族会を開催、包括支援センター職員より、権利擁護に関する制度の説明を行う。講話後に食事会を開催し交流を図る。	12ヶ月
2	7	面会の折など、職員の異動については、口頭で紹介をしていたが、御家族へは行き届いていない。	全御家族へ、職員の異動など、周知徹底できる体制づくり。	御家族面会時も、口頭での職員紹介や異動の説明は継続するが、GH便りを活用し、全家族への周知を図る。	6ヶ月
3	2	サポーター養成講座は実施しているが、地域への認知症の理解について、もっと啓発が必要。	認知症の理解について、まずは、身近な地域より、サポーター養成講座以外に、啓発できる活動を行い、高齢者が安心して暮らせる地域作り。	・学童保育での、認知症の劇を実施し、認知症の理解を得る。 ・認知症カフェの開催（いぶきの家・GH和室）	20ヶ月